

CHUUOU-JUKU

香川県高校入試資料集2011年度版

1, 選考方法

学力検査は5教科(配点は各50点で250点満点)で実施。評定合計と学力検査の得点合計はともに素点とし、「5段階法による人数配分表」によってそれぞれ5段階に区分する。次に学力検査の段階を横軸、評定を行う。この結果と調査書の学習の記録以外の記載事項及び面接の結果などを総合的に考慮して決定する。

2, おもな調査書内容と記入方法

①各教科の学習の記録

・評定 各学年で5段階評定。評定合計は、第1学年、第2学年はそのまま、第3学年は9教科の合計に学力検査を実施しない4教科をさらに加え、その全体をさらに2倍して合計220点満点とする。ただし調査書の学習の記録のみで判断する場合は180点満点とする(第3学年の4教科を2倍しない)。

・観点別学習状況 第3学年においてA、B、Cで評価しAのみ○印で記入する。

②特別活動の記録

・第3学年における活動の状況を主とし、第1・第2学年の活動も加味し、学級活動、生徒会活動、学校行事について、項目ごとに十分満足できる状況にあると判断される場合には○印を記入する。特に顕著な成果や実績がある場合は◎印を記入する。備考欄には、第3学年における具体的な役員名、委員名等や◎の具体的な活動状況を記入する。

③行動の記録

・第3学年で、項目ごとに十分満足できる状況にあると判断される場合には○印を記入する。

④その他の活動の記録

・新体カテストの結果、部活動等の各種大会やコンクール等の記録や成績、奉仕活動、善行あるいはすぐれた特技等について、学校内外での活動における顕著な事実や実績があればそれを記入する。

⑤人物、適正等に関する所見

・人物、適正、進路等についての所見を記入する。

3 学力検査と調査書の比重

・原則 1:1 とする。

高校入試 合否判定基準

	5 (7%)	4 (24%)	3 (38%)	2 (24%)	1 (7%)	サンプル
5 (7%)	合格者					
4 (24%)						
3 (38%)						
2 (24%)		不 合 格 者				
1 (7%)						

香川県の合否判定方法は相関型

◎内申点と学力検査点の比重は原則同等。

※高校によっては、定員の一部を調査書または学力検査点のいずれかで選抜できる。

内申点と学力検査点をそれぞれ5段階に区分した相関表を作成。全受験生を右図の比率で上位の者から配分する。



内申点及び学力検査点が両方とも定員内に入っている者を合格とする。

高校入試 学力検査点

高校入試 内申点

各教科 50 点満点で評価調査書の評価は 3 年の成績を重視(絶対評価)

数学 50 点

1～3 年の成績を 9 教科 5 段階に評定する。

英語 50 点

3 年の実技 4 教科は 2 倍して加算し、

国語 50 点

加算した 3 年の評定合計をさらに 2 倍する。

理科 50 点

1 年 9 教科 × 5 段階 = 45 点

社会 50 点

2 年 9 教科 × 5 段階 = 45 点

3 年 (9 教科 × 5 段階 + 4 教科 × 5 段階) × 2 倍 = 130 点

250 点満点

220 点満点

高校入試 傾斜配点情報

傾斜配点 【香川県 公立高校入試情報】

傾斜配点とは

傾斜配点とは、入試教科のうち特定の教科の配点を大きくすること で、例えば、英語重視の特色を考えている高校なら、入試5教科のうち英語だけを2倍の配点(100点満点)とし、300点満点(通常は250点満点)とすることができます。

傾斜配点実施校(2010年度)

高校・学科の特色に応じて実施。	
三本松(理数)	自己申告による1教科と数学を各1.5倍
三本松 (国際コミュニケーション類型)	自己申告による1教科と英語を各1.5倍
石田(全学科) 農業経営(全学科) 笠田(全学科)	自己申告による1教科と理科を各1.5倍
飯山(総合学科) 丸亀城西(普通)	自己申告による2教科を各1.5倍
琴平(普通)	自己申告による3教科を各1.5倍
多度津工業(全学科) 三木(総合学科)	自己申告による1教科を各2倍
三木(文理)	数学・英語・国語より2教科と理科・社会より1教科を各1.5倍

香川県内の高校偏差値ランキングTOP10(偏差値は目安です)

順位	偏差値	学校名
1位	65	高松高校
2位	63	市立高松第一高校
3位	62	丸亀高校

4位	60	観音寺第一高校
5位	59	高松西高校
6位	58	高松桜井高校
7位	57	坂出高校
8位	55	三木高校
9位	54	高松北高校
10位	53	善通寺第一高校

平成22年度香川県公立高等学校 自己推薦選抜 出願者数

香川県内の2010年度の公立高校の自己推薦選抜入試の出願状況が発表。

自己推薦選抜入試の総募集定員は1249人で、出願者数は4416人、平均出願倍率は3.54倍。

サンプル

倍率が高かったのは、いずれも普通科で高松第一、高松、丸亀、坂出、善通寺第一、高松西。

自己推薦選抜入試 自己推薦書

氏名: _____ 性別: _____

〒 _____ 香川県 _____ 市町村 _____ 番地 _____

電話番号: _____

表題: _____

1. 入学を希望する理由

この欄には、入学を希望する理由、志望校の特色、入学後の目標などを記入してください。

2. 自己のよきところについて自己PRすること

この欄には、自己PRの内容を記入してください。

3. 中学校時代の活躍について

この欄には、中学校時代の活躍内容、学校生活の思い出などを記入してください。

注意事項

1. 表紙は白紙で記入してください。

2. 志望校の応募倍率は、この欄に記載していません。

3. 応募書類の封筒は、必ず「自己推薦書」として封入してください。

平成 22 年度の自己推薦入試の倍率ランキングTOP30

順位	学校	学科	入学 定員	自己推薦 募集人員	出願 者数	出願 倍率	平成 21 年度		
							出願 者数	合格 者数	倍率
1位	高松第一	普通	280	28人以内	262	9.36	280	28	10.00
2位	高松	普通	320	32人以内	259	8.09	268	28	9.57
3位	丸亀	普通	320	32人以内	213	6.66	187	28	6.68
4位	坂出	普通	280	28人以内	180	6.43	190	24	7.92
5位	善通寺第一	普通	200	20人以内	118	5.90	125	20	6.25
6位	高松西	普通	280	28人以内	162	5.79	134	28	4.79
7位	高松南	家政	40	10人以内	54	5.40	69	15	4.60
8位	高松桜井	普通	280	28人以内	146	5.21	168	24	7.00
9位	多度津	建築	35	7人以内	32	4.57	29	7	4.14
10位	多度津	機械	40	8人以内	36	4.50	28	7	4.00
11位	坂出工業	機械	35	7人以内	31	4.43	36	7	5.14
12位	高松工芸	機械	40	8人以内	35	4.38	34	8	4.25
13位	三木	文理	70	14人以内	61	4.36	52	14	3.71
14位	高松南	福祉	30	6人以内	25	4.17	—	—	—
15位	高松南	看護	35	11人以内	45	4.09	40	11	3.64

16位	丸亀城西	普通	200	40人以内	157	3.93	124	39	3.18
17位	善通寺第一	デザイン	35	9人以内	35	3.89	41	9	4.56
18位	観音寺第一	普通	240	24人以内	93	3.88	167	24	6.96
19位	高松工芸	工芸	70	14人以内	54	3.86	57	12	4.75
20位	三豊工業	機械	35	7人以内	27	3.86	31	7	4.43
21位	飯山	看護	35	11人以内	41	3.73	38	11	3.45
22位	津田	普通	140	21人以内	78	3.71	55	21	2.62
23位	三木	総合	80	24人以内	88	3.67	64	24	2.67
24位	高松南	普通	120	24人以内	88	3.67	83	24	3.46
25位	笠田	農産科学	30	6人以内	22	3.67	27	6	4.50
26位	高松工芸	デザイン	30	9人以内	32	3.56	47	8	5.88
27位	笠田	食品科学	30	6人以内	21	3.50	27	6	4.50
28位	農業経営	農業生産 環境園芸 動物科学 食農科学	120	24人以内	83	3.46	70	24	2.92
29位	多度津	土木	35	7人以内	24	3.43	22	7	3.14
30位	笠田	家政	30	6人以内	20	3.33	26	6	4.33

平成23年度香川県公立高等学校

入学者選抜要綱より

平成23年度の香川県公立高等学校(以下「高等学校」という。)の入学者の選抜方針について、次のように定める。

I 日程

1 自己推薦選抜(全日制)

(1) 願書受付期間

平成23年1月24日(月) 9:00~16:00

平成23年1月25日(火) 9:00~16:00

(2) 検査、面接等

平成23年2月 2日(水)

(3) 合格者発表

平成23年2月 8日(火) 9:00

2 一般選抜(全日制及び定時制)

(1) 願書受付期間

平成23年2月15日(火) 9:00~16:00

平成23年2月16日(水) 9:00~16:00

(2) 志願変更受付期間

平成23年2月21日(月) 9:00~16:00

平成23年2月22日(火) 9:00~16:00

平成23年2月23日(水) 9:00~12:00

(3) 学力検査

平成23年3月 8日(火)

(4) 適性検査、面接

平成23年3月 9日(水)

(5) 合格者発表

平成23年3月18日(金) 9:00

3 別日程募集・第2次募集(定時制)

(1) 願書受付期間

平成23年3月22日(火) 9:00~16:00

平成23年3月23日(水) 9:00~16:00

平成23年3月24日(木) 9:00~12:00

(2) 基礎学力検査、面接

平成23年3月28日(月)

(3) 合格者発表

平成23年3月30日(水) 9:00

II 入学定員

高等学校の第1学年に入学を許可される者の数(入学定員)の決定に当たっては、高等学校ごとの収容力、前年度における高等学校ごと及び地区ごとの入学競争率、高等学校全体の入学定員の中で課程別及び大学科別の入学定員の占める割合、関連する小学科間の関係並びに地域の事情等を考慮するとともに、適切な高等学校全体の入学率を確保できるように努める。

III 一般選抜

1 志願方法

(1) 入学志願者の出願できる高等学校は1校とする。この場合において、全日制及び定時制の課程を通して2以上の小学科(関連する複数の小学科をまとめて「くくり募集」する場合は、それらを一つの小学科とみなす。)があるときは、一の学科を第1志望とし、他の学科(課程を異にする同学科を含む。)を第2志望とすることができる。

(2) 入学志願者は、入学願書受付締切後、一定の期間中1回に限り、志願する高等学校、課程又は学科を変更することができる。

2 調査書等

(1) 調査書の記載事項は、教育長が実施細目で定める。

(2) 第3学年の必修教科の評定及び全学年を通しての特別活動の評価は、第3学年の生徒全員について行い、これを学習成績等一覧表として作成するものとする。

3 学力検査等

(1) 一般選抜のための学力検査(以下「学力検査」という。)は、同一の時期に、同一の問題により実施する。

(2) 学力検査は、国語、社会、数学、理科及び外国語(英語)の5教科について行う。

(3) 学力検査問題の内容については中学校学習指導要領(平成10年文部省告示176号、平成15年文部科学省告示第173号・一部改正、平成20年文部科学省告示第99号による特例を含む。)によるものとする。出題に当たっては基礎的、基本的な事項を重視するとともに、判断力、表現力等についても検査することができるように努め、受検者の学力を適切に評価できるよう配慮する。

(4) 上記(2)の5教科の検査のほか、実施細目に定める音楽科、美術科等の学科においては、適性検査を課する。

(5) 学力検査及び適性検査は、それぞれ1日で実施する。

4 面接

入学志願者全員に対して面接を実施する。面接の実施方法等については、教育長が実施細目で定める。

5 選抜方法

入学者の選抜は、中学校長から提出される調査書その他必要な書類、学力検査の成績、適性検査の成績及び面接の結果を資料とし、各高等学校の教育を受けるに足る能力・適性等を総合的に判断して行う。

(1) 調査書の学習の記録と学力検査の成績は、同等に扱う。ただし、入学定員の一部について、そのいずれかを用いない場合は、この限りでない。

(2) 調査書の学習の記録の評価は、学力検査を行う5教科と学力検査を行わない4教科(音楽、美術、保健体育及び技術・家庭)との均衡及び中学校における生徒の発達の過程を考慮して行うものとする。

(3) 調査書の学習の記録以外の記載事項、適性検査の成績、面接及びその他の資料については、これを十分尊重する。

IV 自己推薦選抜

自己推薦選抜の募集人員並びに入学者の選抜等については、教育長が実施細目で定める。

V 定時制の課程の別日程募集、第2次募集及び秋季募集

別日程募集は、入学定員の一部を留保して行い、第2次募集は、一般選抜において合格者の数が入学定員の数に満たないときに行う。

秋季募集は、香川県立三木高等学校において行う。

別日程募集、第2次募集及び秋季募集については、教育長が実施細目で定める。

VI 通信制の課程の募集

通信制の課程の募集については、教育長が実施細目で定める。

VII その他

1 この要綱に定めるもののほか、入学者選抜に関する必要な事項は、教育長が実施細目で定める。

2 専攻科の入学者選抜について必要な事項は、教育長が平成23年度香川県立高等学校専攻科入学者選抜実施細目で定める。